

# 第五回 きもの知識検定 結果報告と総評

実施日 令和2年11月3日、令和2年11月6日（2020）

受験者数 初級 25名  
中級 8名

## 受験結果報告

平均点 初級 67.5点  
中級 77.0点

※各地区平均は合格者一覧をご参照ください

合格者 初級 20名  
中級 8名  
不合格者 初級 5名  
中級 0名

## 試験総評

第五回「きもの知識検定」はコロナ禍の状況を鑑み、11月3日開催の対面と11月6日開催の初のオンラインによるハイブリット検定での実施となりました。厳しい状況下でありながら受験していただきました皆様に心から敬意を表しお礼申し上げます。

きもの知識検定は、初級では、きものを軸として広範囲に地域の生活文化を見つめ通過儀礼というしきたりを理解し実践することを、中級では、美しい日本の風土と自然に育まれた土地の産物と歴史を知識として咀嚼し、きもの文化を伝えつなぐアンバサダーを育てる事を目的としております。

初級は、通過儀礼での装いのコーディネートに見識を深める問題でした。日本の美しい四季と装いの関連性および通過儀礼の時代背景についての理解が少し足りなかったように感じました。

いつから始まり、なぜその儀礼を大切にしているのか、祖先が人を想い家族を想いつなげてきた通過儀礼は楽しく学べる分野です。是非さまざまな角度から生活を見つめてみてほしいと思います。

中級では初級の問題をベースにきもの歴史や織りや染め、地域の文化まで網羅した出題でしたが、受験された皆様は大変よく勉強されておりました。平均点も予想を上回り、出題の傾向や勉強のポイントをよくとらえていたと思います。きものアンバサダーの称号を得て、ますます自身の専門分野の研鑽に励んでいただきたいと大きな期待を寄せております。

きもの知識検定を受験くださいました皆様方に心からお礼を申し上げますと共に、皆様のまわりの方々の方がよりきものと和装文化に慣れ親しんでいただけますことを祈念して今年度の総評とさせていただきます。